

## 第2回「阿久比で自ら“しつらえる”まちづくりに向けて」編 まちづくりレポート

第1回のワークショップに続き、3月8日(木)、「阿久比で自ら“しつらえる”まちづくりに向けて」をテーマに、第2回まちづくりワークショップを開催しました。講師の藤森幹人氏と前回の振り返りをした後、阿久比の仮想プロジェクトについて、テーマごとに深掘りトークをしました。最後には、藤森氏から贈る言葉をいただきました。

### 阿久比町で始めたいプロジェクトのテーマ提示



参加者の皆さまから、11のプレゼンがありました。「温泉を掘る」、「廃虚マーケット」、「隠れアグビー探し」、「阿久比球場を遊び場に」、「あぐりんウォーキング」など多様な内容で、夢の詰まった発想もあれば、一歩踏み出せば実現に近付けそうな計画もありました。

### 関心のあるテーマへ集合

提案者同士で「一緒にやりましょう！」と声を掛け合う中、「みんな大好きカレー公民館」、「ユンボで掘りまくる遊び場」、「池巡りツアー」の3つのテーマに集合しました。



### 「深掘りトーク」した仮想プロジェクトを紹介します



#### 【みんな大好きカレー公民館】

地区の公民館や集会所を拠点に、賑わいを創出します。毎月1回「カレーの日」を決め、公民館や集会所の使用料を無料とし、大きな鍋でオヤジがお母さんや子どもたちに作る庶民的なカレーを毎回20食程度作り、1食200円で、振る舞います。阿久比米を使用し、回数を重ねるごとに、地区の味が出てくるはずです。カレーで阿久比町が盛り上がること、間違いなし！！

#### 【ユンボで掘る里山デイパーク】

ユンボでとにかく掘ってみたい。子どもの頃、完成した積み木を壊す快感を思い出してください。「破壊する楽しさ」から始まり、秘密基地やキャンプ場を造り出し、穴を利用した民泊や特大流しそうめんをします。土の上で遊び、自然と触れ合い、野菜も作りましょう。楽しいことは、継続できます！！

#### 【池の周りは自然がいっぱいツアー】

阿久比町にたくさんある池を人に来てもらえる池にしていきます。月に1回キャンプをしたり、ボートを浮かべて競技をしてみたりと、夢は広がります。そこでは、竹を使った家具やボートを作ります。「池＝あぶない」ではなく、「池＝たのしい」というイメージで一日楽しめます。いけいけいけー！！

### 藤森氏からの贈る言葉「阿久比で、何かが始まる時」

当事者への半歩を踏み出し、何か始めることで見えている景色が変わります。やってみたら、もっと面白いものが見え、無理のないレベルで継続することで、まちづくりのサイクルができます。